

植物とのふれあい・学び

発行：理学研究科・植物管理室 2017年8月

植物管理室では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

フィールドナビ「発見の小径を歩こう」



総合博物館第59回フィールドナビ「発見の小径を歩こう」キャンパスの里山探検3を実施し65名方が参加されました。ナビゲーターとして技術センターから3名が協力し、それぞれ自分の専門を生かしてガイドを担当しました。

まず、植物管理室にて、園内の樹木観察を簡単に行った後、発見の小径を3班に分かれて探検しました。道中は、サイジョウコウホネの花の観察、赤い水の説明、水鳥や水草の話など盛りだくさんの内容で、小径を満喫しました。



子供たちは、途中、笹舟を作ったり、トンボやチョウを見つけたり、ピオトーフでは網を使って生き物体験も行いました。博物館にゴールしたみなさんには、認定カードをお配りしました。



ザリガニ釣りにも挑戦

FN「里山の植物を観察しよう」初夏の樹木観察



樹木クイズに挑戦をして、熱心に観察をする参加者のみなさん

6月10日(土)に、初夏の樹木の見分け方を実施しました。前半は、園内にて葉のつくりや樹木の分類について学びました。その後、生態実験園を歩きながら実際に樹木を観察して特徴や見分けるポイントについて、解説を行いました。後半は、道路沿いの樹木にて、樹木の名前当てクイズを行いました。問題は20問でしたが、中には難問や超難問の問題もあり、みなさん困難を見たり家族で考えたりと熱心に取り組まれ、盛り上がりしました。



全問正解者もでました

中学生の職場体験で里山の手入れ

6月に東雲中学校特別支援学級の3年生4名の職場体験学習の受け入れを行いました。6月13日には、キャンパス内の自然環境において、里山の手入れ作業の体験を行いました。当日は、まず樹木の説明を受けて木の特徴を学び、その後、ノギリを使って、ヒサカキ、イヌツゲの2種類の常緑樹の間伐作業を行いました。作業後は、林が明るくなり、里山の再生ができました。



最初は慣れない手つきでしたが、だんだんと上手に切れるようになっていきました。木の種類も覚ええました。

栽培実習・春コース 野菜収穫



植物栽培入門講座は、春コースが終了しました。採りたてのトウモロコシやエダマメは格別の味でした。ナスやピーマン、トマトは自分たちでは食べきれないほどでした。この講座で参加者のみなさんは、野菜作りの楽しさを体験しました。最後には、試食会を行いました。



今年は、めか漬け作りに挑戦しました。毎日、めかをかきまぜて自分たちのめか床を作り、キュウリやナスを漬けました。



マリーゴールド植え付け



このマリーゴールド苗は、3月中旬に播種し3か月かけて園内で育苗したものです。植物管理室では学内緑化のために年間を通じて、花苗の育苗を行っています。花作りに興味のある方は、ぜひ学内緑化のために、ご協力をお願いします。

6月15日のお昼休みに、学内の緑化ボランティア20名により中央図書館前の花壇にて花苗の植え付け作業をおこないました。暑い日差しの中、教員、事務職員、学生、留学生など多くのみなさまに参加していただき、4種類のマリーゴールド苗約1500株を花壇に植え付けました。



園内の花

ナツスイセン *Lycoris squamigera*



ヒガンバナ科
中国、日本(本州~九州)に分布する。和名は、葉がスイセンに似ていて花が夏に咲くから。球根は4~5cmの有皮鱗片でリコリンという有毒成分を含む。

園内の花

キョウチクトウ *Nerium oleander* var *indicum*



キョウチクトウ科。
インド原産。乾燥や大気汚染に強く街路樹に利用。花や葉、枝など全ての部分にオレアンドリンという毒成分が含まれる。復興のシンボルとして広島市の花に指定。



【お問い合わせ先】

広島大学理学研究科
植物管理室

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp